



1



2

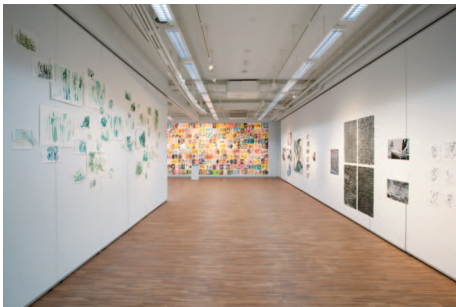


4

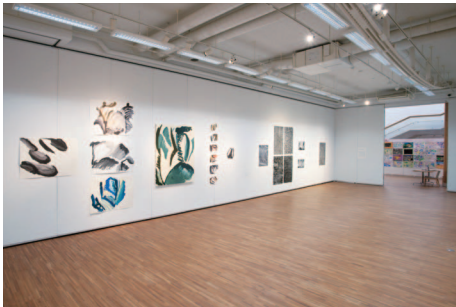


3

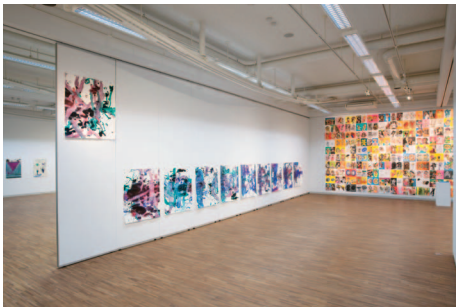
- 1 田名網敬一 TANAAMI Keiichi 《ドローイング・インスタレーション200》
インク・コンテ・色鉛筆、2000-2012年
- 2 東島毅 HIGASHIJIMA Tsuyoshi 《ケミストリー・ドローイング》
ミクストメディア・紙、2010・2012年
- 3 神谷徹 KAMIYA Toru 《forest drawings》
アクリル絵具・コットンペーパー、2012年
- 4 藤本由紀夫 FUJIMOTO Yukio 《ドローイング》
映像、写真ほか、2012年



7



8



9



10

■展覧会概要

会 期：2012年9月28日（金）～10月19日（金）11:00-18:00
会 場：京都造形芸術大学 ギャリリ・オーブ
出品作家：櫃田伸也、松田啓佑（外部ゲスト）
田名網敬一、藤本由紀夫、横内敏人、東島毅、神谷徹（本学教員）
桜井類、神馬啓佑、新垣佳子（本学卒業生）
企画運営：林洋子（本学教員）
アシスタント：石川千尋（本学大学院修士課程）
アート・ディレクション：鈴木篤、事務担当：牛田志穂（本学職員）
学生スタッフ（芸術表現・アートプロデュース学科）：
イ・ハヌル、イム・イエヒョン、河原功也
鈴木香澄、早川七月、園部雄太、権ノ賢

■関連イベント

9月29日（土） トーク「かくこととドローイング」
いしいしんじ（小説家）
10月5日（金） クロストーク「ドローイング・レッスンス+」
浅田彰（本学大学院長）×藤本由紀夫×
桜井類×神馬啓佑×林洋子
10月13日（土） ワークショップ「完成を未完成にできるか？」
桜井類、小野惇貴（C.A.P.）
10月17日（水） トーク「ドローイングを映像化する」石田尚志（映像作家）
10月19日（金） クロージング・トーク「エモーショナル&エンピリカル・ドローイング」
保坂健二郎（東京国立近代美術館研究員）×出品作家×林洋子



5



6

- 5 横内敏人 YOKOUCHI Toshihito 《建築のためのドローイング》
鉛筆・B5版スケッチブック、1988-2012年
- 6 櫃田伸也 HITSUDA Nobuya 《ドローイング・インスタレーション》
鉛筆・色鉛筆・紙ほか、2012年
- 7 会場風景
左手前：新垣佳子 SHINGAKI Yoshiko 《Drawing installation of trees》
水彩・鉛筆・紙、2012年
右手前：神馬啓佑 JIMBA Keisuke 《ドローイングについて》
アクリル絵具・油彩・紙、2012年
- 8 会場風景 左手前：松田啓佑 MATSUDA Keisuke
《Drawing installation for Aube》
アクリル絵具・紙・油彩・キャンバス、2012年
- 9 会場風景 左手前：桜井類 SAKURAI Rui
《Temperature Time Gravity》
アクリル絵具・紙、2012年
- 10 ワークショップ「完成を未完成にできるか？」
2012年10月13日

美術教育における根幹とい
べき石膏デッサンや完成作の下絵
としてではなく、「創造の生まれ
る源」としてのやわらかな感性に
立ち会おうべく、「ドローイング」を
テーマに展覧会を企画した。二〇
歳代から七〇歳代まで幅広い世代
で、絵画、建築、イラストレーショ
ン・アニメーションの活動領域か
ら一〇作家を選んだ。ドローイン
グそれ自体を作品として制作、展
示、そして話しあう「レッスンス」は
十分に果たされ、素材もサイズも
多様な豊かな空間が生まれた。

撮影：河田憲政（1〜9）